

夢を持ち を育み を叶える

～大津町学校教育ビジョン基本理念～

Murofessional

(むろふえっしょなる)

vol.17

～毎日・成長・実感～

R3.1.14 文責：村田典子

まとめと準備の後期後半スタート ～50 日間をどう過ごす

早いもので、コロナ対応で慌ただしく過ごしてありましたら、今年度もあと 3 ヶ月。休校や分散登校で限られる授業日数、さらに活動制限の多い中で、「できないこと」をどんなふうにして「できる」に変えるかが、大きなテーマでした。

初日の 1 月 8 日は、降雪を心配し、前日に塩化カルシウムを役場から分けていただき備えてありましたら、いい意味の空振り。幸い雪はなかったものの、刺すように風の冷たい朝でした。けれども、登校後の子供たちは外で遊んでいました。さすが、子供は風の子・・・

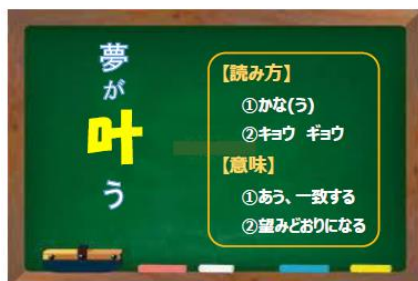
にこにこ集会は、いつものズームで開催しました。生活委員長の府内李樹さんと給食委員長の藤屋りんさんが、今月の目標を発表してくれました。生活委員会の目標は、「落ち着いた生活をしよう」です。気温が下がって遊ぶ機会が減って室内で過ごす時間が増えるだろうと予測した上での目標設定。皆、寒くなると、身体も固くなって動きづらくなります。ケガも増えます。意識して守って欲しいものです。



私からは、「次の学年にステップアップする後期後半に！」と題して、「叶」、そしてこれに「-(マイナス)」のついた「吐」という漢字を引用して、話をしました。

人は、負の感情が強いと十分に力が発揮できないものです。その負(マイナス)をプラス(+)に変えることで、「**もっとたくさん力が出るようになる**」というメッセージを伝えました。

ここからの後期後半は 50 日。コロナ禍の中でこの 50 日間の学校生活がしっかり保障されればいいのですが、何かがどう動かない社会ですから、1 日 1 日がとても大切です。**毎日・成長・実感**しながら、日々身に付いた力を丁寧に重ねてくれることを願います。



どんとや中止でしたが・・・

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念しつつ、大事な行事だから開催したいという思いで、PTA 執行部の皆さんが協議を重ねて準備を進めてこられました。本県のリスクレベル 5、そして連日の拡大状況を鑑み、やむなく中止となりました。毎年とても賑わっていたこのイベントができないのは、何とも寂しいことです。

この日のために、子供たちの振る舞いとして準備されていた袋入りの切り餅として右写真(右写真)は、15 日(金)に子供たちに配布します。関係の皆さんの思いと共に味わってほしいなあと考えています。



晴れ着の娘 見たかった

—というタイトルの記事が、1.11 付けの熊日に掲載されていました。高校 3 年生の時、いじめを受けて自殺した我が子が生きていれば成人式を迎える。「成人していたら、こうなっていたんだろうな。」そんなリード文で始まる記事に、心痛み、また同級生の行動に温かさをもらいました。折しも、10 日には、成人式を迎えた本校の卒業生が来校し、素敵な着物を拝見させていただきました。こんな晴れがましい姿を見られなかったお家の方の苦しさは、計り知れないものがあります。

“熊本県いじめ防止基本方針”の改訂

令和 2 年 11 月 24 日に、県のいじめ防止基本方針の改定がなされました。この内容には、前掲の自死事案に係る調査報告も反映されています。

本方針では、冒頭の中で、必要な認識の一つとして「**いじめはどの学校、どの子供にも起こりうる**こと」と述べています。いじめ追跡調査(H28.6 刊行国立教育政策研究所)によれば、暴力を伴わないいじめ(仲間はずれ・無視・陰口)について、小 4～中 3 までの 6 年間で、被害経験を全く持たなかった児童生徒は 1 割程度、加害経験を全く持たなかった児童生徒も 1 割程度だったとのこと(本方針抜粋)。多くの児童生徒が**立場を入れ替わり被害や加害を経験している**ことが確認されています。

状況によっては生命にも関わる重大な事態を引き起こすいじめ問題。多様な価値観を認め合える学校づくりをしっかり取り組んでまいります。また、何か気になる事等ありましたら、どうぞご相談ください。